

| | | |
|---|---|---|
| <p style="text-align: center;">知識情報基盤ワークショップ I Knowledge Information Infrastructure Workshop I</p> | <p>(教員名) ベンカテッシュ ラガワン、 大西 克実、吉田 大介、米澤 剛</p> | |
| <p>知識情報基盤研究分野 中核科目</p> | <p style="text-align: center;">演習科目</p> | <p style="text-align: center;">必修</p> |
| | <p style="text-align: center;">3 単位</p> | <p style="text-align: center;">2017 年度・前期</p> |
| <p>I 科目の主題 知識情報基盤分野でのワークショップは「インターネット技術の進展と知識のデジタル化」を主要なテーマに、問題点や課題の選定を行う。</p> | | |
| <p>II 授業の到達目標 本ワークショップでは、理論と知識の習得、及び事例研究を主目的として、適宜、当該問題第一人者を招聘し、講義と・質疑・相互討論を行う。</p> | | |
| <p>III 授業内容・授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：ワークショップの進め方、討議への参加、課題のまとめレポート等について解説をする。また、全体スケジュール、対象テーマ、必読文献等について討議する。 2. コンピュータやネットワークおよびインターネット技術の最新技術と動向とその具体展開事例を中心に取り上げる。 3. 情報メディアシステムの最新技術と動向、それがもたらす社会、経済、文化的変化等について、事例を中心に取り上げ、「ユビキタス情報社会」の全体像の俯瞰的な理解を図る。 4. GIS、データベース等の最新技術と動向、都市環境問題などの具体的展開事例を中心に取り上げる。 5. 先端技術とその応用、社会的な展開について、事例を核にその各種課題、問題点等について、報告、討議、中間まとめ・全体まとめを行う。 中間まとめ、全体まとめなどを含めて、約 15 回の予定。 | | |
| <p>IV 事前・事後の学習内容 事前に資料の提示を Web 上などで行うので目を通しておく事。担当者は関係する知識を収集しておく事。</p> | | |
| <p>V 評価方法 担当するテーマのレポート、出席点、および、議論への参加の度合いによって評価する。</p> | | |
| <p>VI 受講生へのコメント 講義の録画などにも協力してください。</p> | | |
| <p>VII 教材 基本的にはゲストスピーカの用意する資料。講義の内容はゲストスピーカの了解の元で VOD 化される</p> | | |